

南島原市男女共同参画計画と推進懇話会

南島原市男女共同参画計画

南島原市では、平成20年3月に『南島原市男女共同参画計画』を策定しました。

現在、この計画に沿って、さまざまな施策に取り組んでいます。この計画は、市民のアンケートやご意見をもとに、男女共同参画推進懇話会の委員の皆さんと策定したものです。

男女共同参画推進懇話会

学識経験者、各種団体代表、一般公募、行政関係で構成。南島原市男女共同参画計画の策定や、計画が遂行されているかどうかの評価などを行っています。現在も男女共同参画の推進状況などを審議しているほか、各種セミナーの積極的参加や、各種団体への声かけなど、男女共同参画の推進には、欠かせない存在です。



島原雲仙農協の野菜センター。「選果」で、農家と日本の食を支えています。

思いやることが楽しい職場、明るい家庭につながります。
また、家庭でのワークライフバランスで大切な「家族の役割」を決める際に大切なこと、それは、「話し合うこと」と。お互いの仕事、生活などを理解し合うことが大切です。
そして話し合いの大事なエッセンス

ス。それは、できるだけ「一緒にやる方法」を「一緒に」考えるということ。とはいえ、隈部さんもおっしゃっていますが、家庭のスタイルはそれぞれですから、お互いが納得のできるスタイルならば、どんな形でもよいのです。こうした取り組みの結果、家族間の理解が深まり、同じ仕事、家事であってもやりがいや充実感が得られる家庭や社会になるのだ、という考え方がワークライフバランスと言えます。

ワークライフバランスの 実践でこんないいことが！

企業ができるワークライフバランス
残業時間を短縮して、社員が家事や地

職場・家庭・ 地域社会における 男女共同参画の推進



男女共同参画 インタビュー

教育委員
隈部 浩美さん

布津町在住。「教育委員といっても、いつもはこんな感じですよ」と普段着で笑顔。個人で発行している家族新聞が人気で、講演会などに呼ばれることもあるそうです。



教育委員として活動されるうえで、女性の視点から何かありませんか

教育委員に選ばれて感じたのは、「恐れ多いなあ」ということ（笑）。
校長先生だった人、教育長だった人ばかりですから。PTAという立場の私なんかが入っているのかしらって悩んだこともありました。
それでも、私のような立場の教育委員がいるから、色々な角度でものを見ることができるとも思いません、周り回って皆さんの役に立てるかもしれない、とも思うのです。そしてこれは、社会にも言えることだと思います。男性と女性が力を合わせるから、よいアイデアが生まれたり、お互いに気づくこともあるのだと思います。

対等なパートナーシップと 対等な協力関係

憲法でも保障されている「男女平等」。ところで、皆さんの家庭では、対等な協力関係を築けていますか？
総務省「社会生活基本調査」によると、育児や介護が必要な家庭の夫婦の自由時間は、夫の方が長い、つまり妻は自由時間が少ない、というデータが出ています。
この結果をもって不平等とは一概に

男女共同参画懇話会にも出席していらっしゃいますね

懇話会に参加するまで「男女共同参画の問題」とは「女性も仕事をばりばりがんばりましょう」というイメージがありました。ですが、お話を聞きすると、男女共同参画社会とは「性にとらわれずに『その人がその人らしく生活できる』」社会を目指すこと。
つまり、女性でも仕事をがんばりたい人は、仕事を。女性はもちろん、男性でも家事をしたい人は家事を。性の壁のない「やりたい」と思つて「できる」社会。私もそんな社会になるといいなあ、と思つて参加しています。

には言えませんが、「自由時間」という視点で、お互いの負担を確認し合うこともよい方法かもしれません。

男女共同参画社会の「次の一歩」 ワークライフバランスについて考える

仕事と生活の両立って難しい。どちらも大切だからこそ悩みを抱えている人が増えているそうです。仕事が終わると主婦に変身、あわただしく家事をするお母さん。家族のために夜遅くま

域活動に参加しやすくする。

- ・労働時間短縮によるストレスの軽減
- ・人件費の削減
- ・企業イメージの向上

ワーク(仕事)にバランスがかたより がちなのワークライフバランス

- ・家事、育児や地域活動の積極的な参加
- ・家族とのきずなが持てるようになる
- ・家事や育児への理解がすすむ。
- ・地域とのつながり一気感。社会貢献への充足感が高まる。

ライフ(家事育児)にバランスがかたより がちなのワークライフバランス

- ・仕事や地域に出てみる
- ・知らない人との出会いがある。視野

男女共同参画社会。実現のためには、何が重要だと思いますか

保育園や幼稚園の時間外保育や、介護制度の充実などのおかげで、以前よりもお母さんが働きやすくなるだけでなく、私たちのライフスタイルの「選択の幅」が広がったと思います。
男女共同参画社会の実現のためには、こうした行政サービスの充実が不可欠です。これからの一層の充実をお願いしたいと思っています。
それ以上に、それぞれの役割について家庭で話し合い、決めていくことが大切だと思います。話し合つて納得した役割や結果。それは、男性の役割、女性の役割ではなくて、「あなたの役割」であり「私の役割」なのでから

で仕事、仕事のお父さん。家事・育児・介護が大変で、一人で抱え込んでお母さん。
この「仕事と生活の両立」という問題を解決するキーワードが、「ワークライフバランス」です。

簡単に言うと「誰もが仕事、家庭生活、自分の時間などを自分が希望するバランスで展開できること」です。とはいえず、「自分の希望するバランス」が「相手の望むバランス」とは限りません。お互いを尊重して、譲り合い、

が広がる。
仕事を通じて社会貢献が実感できる。

社会にとってもこんないいことが

- ・就労者が増えることで経済的自立が可能になる
- ・健康で豊かな生活のための時間が確保できるゆとりある社会に！
- ・多様な働き方・生き方が選択できる社会に！

性別にとらわれず、あらゆる世代の誰もが仕事や子育て、介護、自己啓発、地域活動などの活動を自分の希望するバランスで展開できることが、「仕事の充実」と「仕事以外の生活の充実」の好循環をもたらします。

DV支援者セミナー開催のお知らせ

最近、ニュースや新聞でもよく取り上げられているDV(ドメスティック・バイオレンス)。DVとは、夫や恋人からの暴力のことで、その被害は「2人のこと」「家庭内のこと」と、あまり表に出て来ないことが多いようです。

市の男女共同参画計画でも、「女性に対するあらゆる暴力の根絶」を施策としてあげ、取り組みを行っています。「自分の大切な人が、DV被害者だったら、あなたはどうしますか？」その答えは、セミナーにあります。

ぜひご参加ください。

- 📅 6月25日(休) 午後7時～9時
- 📍 西有家総合学習センター カムス
- 📄 寸劇、講話
(講師:長崎県男女共同参画アドバイザー 峰 昭子氏)
- ☎ 電話、FAX、Eメール
- 🏠 市民生活部 人権・男女共同参画室
☎ 050(3381)5035
FAX 0957(82)3086
E-mail: jinken@city.minamishimabara.lg.jp
- 🕒 日時 📍 場所 📄 内容 📄 申し込み
- 🗨 問い合わせ